

連絡先 自動車局審査・リコール課リコール監理室  
 TEL. 03-5253-8111 内線42354  
 アドレス : http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日 : 平成27年12月11日

リコール届出番号	3712	リコール開始日	平成27年12月11日
届出者の氏名または名称	ヤンマー株式会社 代表取締役社長 山岡 健人 <span style="float: right;">           問合せ先 : 品質保証部            TEL. 06-6376-6347         </span>		
不具合品の部位(部品名)	①ブレーキ装置(ブレーキペダルストップ) ②かじ取り装置(シリンダキャップ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	① 農耕トラクタの制動装置において、ブレーキペダル用ストップステーの強度が不足しているため、ブレーキペダルがブレーキ戻しバネの力で解除位置に戻る際、ブレーキペダル用ストップステーが変形することがある。そのため、左右のブレーキペダルを連結するためのピンを通す穴がずれ、左右のブレーキペダルが連結出来なくなくなり、走行中、運転者が片側のブレーキペダルを踏み込み、急旋回するおそれがある。 ② 農耕トラクタのかじ取り装置において、シリンダキャップの製造指示が不適切なため、シリンダキャップの角部の面取りが大きいものがある。そのため、ハンドル操作を行うとシリンダキャップが当該キャップの位置ずれを防止するための止め輪を噛み込み、そのままの状態で使用を続けると、止め輪が破損し、シリンダキャップが外れて、オイルが漏れ、最悪の場合、ハンドル操作ができなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	① 全車両、ブレーキペダル用ストップステーに補強用ブラケットを取り付ける。なお、ブレーキペダル用ストップステーに変形がある場合は、当該ステーを修正した上でブレーキペダル用ストップステーに補強用ブラケットを取り付ける。 ② 全車両、シリンダキャップを対策品に交換する。		
不具合件数	0 件	事故の有無	無し
発見の動機	社内からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者:ユーザーを把握しており直接電話等で通知する。 ・自動車分解整備事業者:ユーザーを把握しているため周知のための措置は取らない。 ・改善実施済車には、運転席後部に貼付されているシリアルナンバーラベルの横にNo. 3712のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤンマー	-	「YT490」	S0002-010017~010031 平成27年8月11日~平成27年8月24日	5	①5 ②4
			S0002-100101~100339 平成27年2月17日~平成27年9月18日	117	①117 ②104
		「YT5101」	S0002-400101~400174 平成27年4月22日~平成27年9月9日	25	①25
		「YT5113」	S0002-010001~010038 平成27年7月24日~平成27年9月9日	13	①13
			S0002-700102~700273 平成27年2月24日~平成27年9月15日	98	①98
	(計1型式)	(計3車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成27年2月17日~平成27年9月18日	(計258台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。